

◇公聴会等でいただいた提案ルートの特徴表（※現在、委員会において検討されている4ルートと同様な提案ルートは除く。）

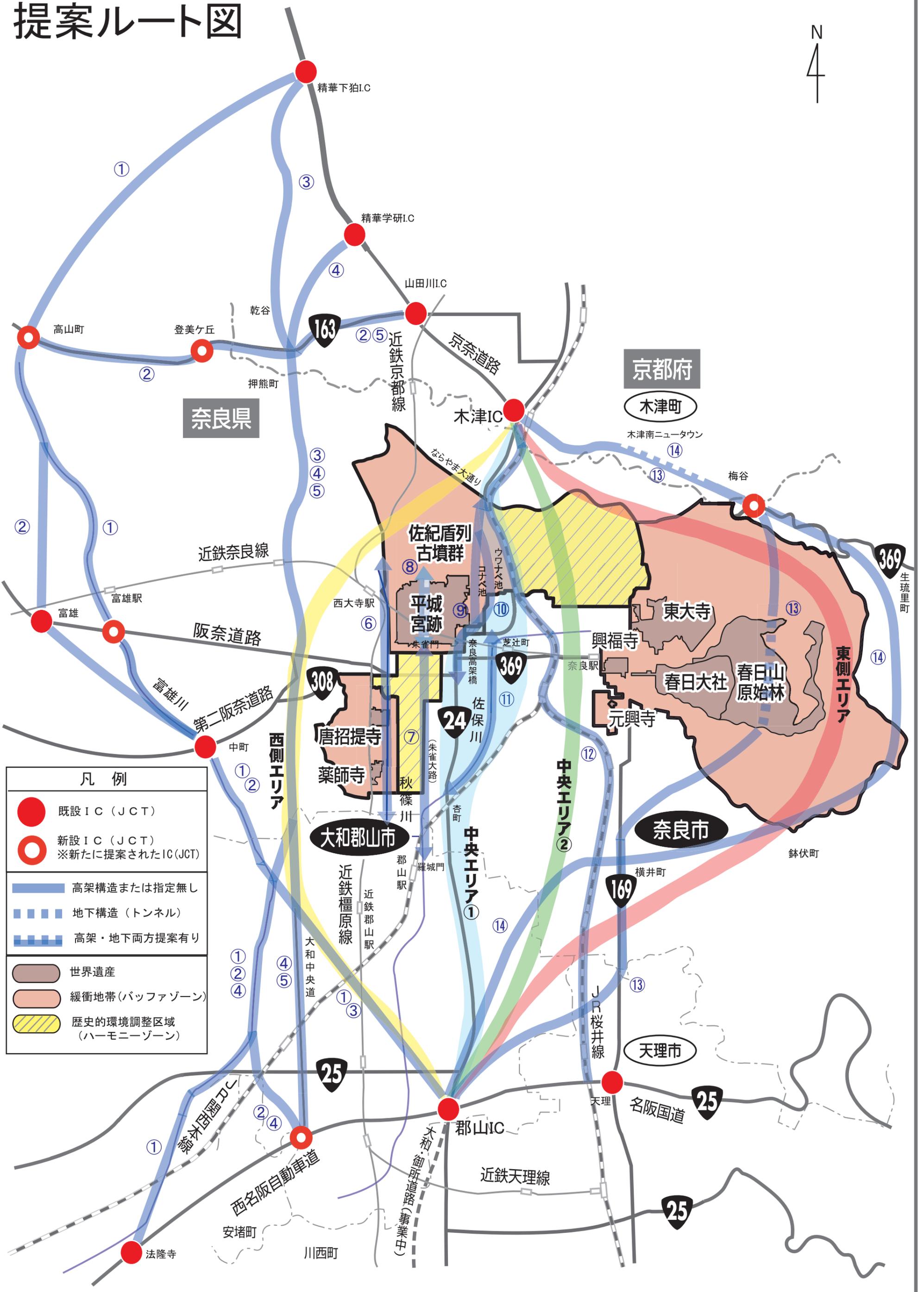
導入位置		富雄川の空間を活用したルート		大和中央道の空間を活用したルート			秋篠川の空間を活用したルート	朱雀大路を活用したルート	平城宮跡内を通過するルート	平城宮跡の東側を通過するルート		佐保川の空間を活用したルート	JR桜井線の空間を活用したルート	春日山原始林直下を通過するルート	春日山原始林の東側を通過するルート			
ルート番号(提案件数合計)		①(2件)	②(1件)	③(1件)	④(3件)	⑤(3件)	⑥(2件)	⑦(2件)	⑧(5件)	⑨(1件)	⑩(1件)	⑪(2件)	⑫(1件)	⑬(1件)	⑭(1件)			
提案方法		公聴会での発言アンケートに記載		はがき、封書		はがき、封書		はがき、封書 キャンペーンでの発言アンケートに記載	アンケートに記載		アンケートに記載		電話による提案	電話による提案	電話による提案 はがき、封書	はがき、封書	はがき、封書	はがき、封書
「意見の内容」	起終点	起点	京奈道路の精華下狛IC	京奈道路の山田川IC	京奈道路の精華下狛IC	京奈道路の精華学研IC	京奈道路の山田川IC	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	京奈道路の木津IC	京奈道路の木津IC	京奈道路の木津IC	
	起終点	終点	西名阪道の法隆寺IC又は郡山IC	(西名阪道)	西名阪道の郡山IC	(西名阪道)	(西名阪道)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	(西名阪道)	西名阪道の郡山IC	西名阪道の郡山IC	
	ルートの概要		・精華下狛ICから分岐 ・生駒市高山町を經由 ・富雄川沿いに南下 ・法隆寺IC又は郡山ICに接続	・山田川ICから分岐 ・国道163号を西進 ・生駒市高山町から南下 ・阪奈道路の富雄ICを經由 ・富雄川沿いに南下 ・西名阪道に接続	・精華下狛ICから分岐 ・精華町乾谷を經由 ・大和中央道に導入 ・郡山ICに接続	・精華学研ICから分岐 ・奈良市押熊町を經由 ・大和中央道又は富雄川に導入 ・西名阪道に接続	・山田川ICから分岐 ・大和中央道に導入 ・西名阪道に接続	・秋篠川に導入	・朱雀大路に導入	・平城宮跡内を通過	・コナベ池の西側を通過	・コナベ池の東側を通過	・佐保川の上空空間を活用	・JR桜井線の空間を活用	・木津ICから分岐 ・木津町梅谷を經由 ・春日山原始林直下をトンネルで通過 ・国道169号を經由 ・郡山ICに接続	・木津ICから分岐 ・木津南ニュータウンをトンネルで通過 ・奈良市生流里町、奈良市鉢伏町、奈良市横井町を經由 ・郡山ICに接続		
	道路構造		高架	不明	不明	不明	不明	高架	地下:1件 不明:1件	地下:4件 高架:1件	高架	不明	高架	不明	高架	不明	春日山原始林直下をトンネルで通過	木津南ニュータウンをトンネルで通過
	接続する道路		・国道163号 ・阪奈道路 ・第二阪奈道路	・阪奈道路 ・第二阪奈道路	・大和中央道	・大和中央道	・国道163号 ・大和中央道	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	・国道169号	不明
総延長		約25km (法隆寺IC接続の場合) 約23km (郡山IC接続の場合)	約23km	約19km	約17km (大和中央道を活用した場合) 約18km (富雄川を活用した場合)	約16km	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	約13km	約18km	約21km		
世界遺産との最短離隔(km) (世界遺産名)		約2.5km (薬師寺)	約2.5km (薬師寺)	約1km (唐招提寺)	約1km (唐招提寺)	約1km (唐招提寺)	近接 (唐招提寺)	直下 (平城宮跡)	直下又は直上 (平城宮跡)	近接 (平城宮跡)	近接 (平城宮跡)	約0.5km (平城宮跡)	約1km (平城宮跡)	直下 (春日山原始林)	約1km (春日山原始林)			
住居系用途地域通過延長(km)		約4km	約3km	約10km	約10km	約10km	不明	不明	不明	不明	不明	不明	約4km	約4km	約4km			
特徴		○平城京城を通らない ○自動車専用道路ネットワークの形成(第二阪奈道路と接続) ○富雄川の空間を活用 ○奈良市中心市街地から遠い ○河川空間整備との調整が必要	○平城京城を通らない ○自動車専用道路ネットワークの形成(第二阪奈道路と接続) ○大和中央道の空間を活用 ○奈良市中心市街地から遠い	○秋篠川の空間を活用 ○唐招提寺、薬師寺の緩衝地帯内を通過 ○整備中の秋篠川との整合性が必要	(羅城門～朱雀門までの区間のみが記載されている) ○朱雀大路の幅員(約72m)を利用 ○平城宮跡の直下を通過	(平城宮跡周辺についてのみ記載されている) ○平城宮跡の直下又は直上を通過	(市道「ならやま大通り」～国道24号の奈良高架橋までの区間のみが記載されている) ○ならやま大通り～奈良高架橋間を短絡するルート ○国道24号奈良バイパスよりも平城宮跡に近接 ○平城宮跡の緩衝地帯内を通過 ○佐保川の空間を活用	○奈良市中心市街地から遠い ○春日山原始林の直下を通過	○奈良市中心市街地から遠い ○春日山原始林の緩衝地帯内を通過									
大和北道路の検討状況に示したルートとの比較(H15.2公表)		○起点・終点が異なる ○西側エリアのルートと比べて延長が長い(約1.7～1.8倍) ○建設費が高くなることが予想される	○起点・終点が異なる ○西側エリアのルートと比べて延長が長い(約1.1～1.3倍) ○大和中央道の利用延長が長い(約1.8～2.8倍) ○地下構造の場合は、トンネル延長が長くなり、建設費が高くなることが予想される	○唐招提寺、薬師寺に近接する(東側直近を通過)	○有識者委員会で削除した平城宮跡直下ルート案と同様	○有識者委員会で削除した平城宮跡直下ルート案と同様	○中央エリア①のルートよりも平城宮跡の東側でより近接する	○佐保川の上空を通過し、河川空間整備との整合性が必要	○終点が異なる ○中央エリア②のルートと比べて、JR沿線で住宅など支障物件が多くなり、建設費が高くなることが予想される	○春日山原始林の直下を通過する	○東側エリアのルートに比べて延長が長く(約1.1倍)、建設費が高くなることが予想される							

※1: 延長等は、提案ルートを1/25,000平面図に描いて、事務局が試算したものです。

※2: 住居系用途地域とは、第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域及び準住居地域の総称のことです。

※3: 世界遺産の緩衝地帯とは、遺産の周辺環境を直接保護するための区域のことです。

# 提案ルート図



## 凡例

- 既設 I C (JCT)
- 新設 I C (JCT)  
※新たに提案されたIC(JCT)
- 高架構造または指定無し
- 地下構造 (トンネル)
- 高架・地下両方提案有り
- 世界遺産
- 緩衝地帯 (バッファゾーン)
- 歴史的環境調整区域 (ハーモニーゾーン)